

平成26年度 入学式 式辞（平成26年4月8日）

校舎から仰ぎ見る医王の峰の残雪も残りわずかとなり、野山の草花にも新しい春の息吹を感じられるようになりました。

本日、ここに、ご来賓、保護者の皆様方のご臨席を賜り、遊学館高等学校、平成26年度入学式を盛大に挙行できますことを、心より厚くお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可されました**486**名の新入生の皆さん、皆さんは今日より晴れて「遊学生」の一員となられました。ご入学おめでとうございます。

遊学生のモットーは、常に「感謝の気持ち」を忘れず、誰に対しても「清々しい挨拶」が行えることです。皆さんがこの場に立てますことは、皆さん自身の努力はもちろんのことですが、これまで慈しみ育ててくれたご家族をはじめ、小中学校の先生方や周囲のすべての方々の愛情とご指導のおかげでもあります。これらの方のご恩に対し、常に「感謝の気持ち」を忘れず、自ら進んで挨拶ができる、「真の遊学生」として高校生活を歩み出して行ってください。

さて、皆さんは「知・徳・体」という言葉を聞いたことがありますか。これから、この言葉について少し話したいと思います。

まず始めは、「知」、知識の習得です。常に向学心や好奇心を持って、今から始まる一つひとつの授業を大切にし、できる限り多くのことを本校で学び取って欲しいと思います。

本校では、平日は夜8時、土曜日午後5時まで、学校を開放し、皆さんに「学びの場」を提供しておりますので、大いに活用し、知識の習得にぜひ努めてください。

次は、「徳」、品行です。集団生活をする上では、まず自分自身の行動を慎み、全体のルールに従うことが重要です。古代中国の思想家である孔子と、その弟子の中で、もっとも秀でていたといわれる、顔回という人の会話の中で、顔回が孔子に対して「最高の徳」とは何かと質問した場面があります。

「それは恕か。己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」と孔子は答えています。

この言葉のように、「まずは互いに許し認め合うこと。そして自分が嫌だと思ふことは、他人に対しても行わないこと」これが、何よりも集団生活をする上で大切なことではないかと考えています。

皆さんはこれから、本校で多くの同級生、上級生と出会います。その中には皆さんの人生に何らかの影響を与えるような人物にも出会うはずですが、「人の和」を大切にし、お互いに励まし合い、高め合い、好ましい友人関係を築いて欲しいと思います。

最後は、私が一番大切なことと考えている、「体」、すなわち「心と身体」の健康です。心の緩みは、大きな事故や怪我に繋がります。常に気を引き締め、親から授かった大切な身体を傷つけることがないよう、まずは自分自身が自分の身体を大切に扱って欲しいと思います。そして、規則正しい生活を送るとともに、部活動やボランティア活動に積極的に取り組み、少々のことでは欠席しない、健康で逞しい身体をつくり上げて行って欲しいと思います。

本校で過ごす3年間で、「健康で、品行があり、知識のある人間」、すなわち「知・徳・体」、これらの調和のとれた人間に成長してくれることを願っています。

（中略）

それでは、新入生諸君が 遊学生としての誇りを持ち、明るく学校生活を送り、そして3年後には、大きく成長し、胸を張って卒業してくれることを願い、入学式の式辞といたします。